

荒尾市立荒尾第三中学校 学校だより



つながる

校訓
自主創造
協力

R7. 7. 18(金) No.10 立野 健一

熊本県中体連大会&熊本県吹奏楽コンクール推戴式



7月10日(木)に熊本県中体連(バドミントン・ソフトテニス・卓球・陸上・水泳・新体操・柔道)と熊本県吹奏楽コンクールの推戴式が行われました。各部の決意表明ならびに吹奏楽部のコンクール曲演奏(一部)がありました。力強い決意と吹奏楽部の演奏。暑さを忘れてじっと聞いていました。生徒代表激励の言葉のあとには恒例の三中コールを行い、場の雰囲気が一気に盛り上がりました。体育館が狭いため、1年生はZoom配信により教室での参加となりましたが、廊下の窓から「頑張ってください!」という激励の言葉が聞こえてきました。自分は出場しないけれど、仲間の頑張りを支えるための推戴式で、学校が一つにまとまれるなんてとても素敵なことです。

12日(土)~13日(日)に行われた競技では自分の力を精一杯発揮しようと頑張っていたと報告を受けています。お疲れさまでした。その中で、ソフトテニス女子個人の嶋田・山道ペアが3位となり、8月4日~6日に行われる九州大会(沖縄県沖縄市)に出場します。おめでとうございます。今度は熊本県の代表として自分を表現してきてください。また、19~20日の水泳・陸上、26日の吹奏楽部は「Do your best~最高の仲間と~」の生徒会スローガンのもと、自分を表現してきてください。

伸びゆく三中(2)

① 7月3日(木)の生徒集会。暑さのために、急遽、音楽室からZoom配信しました。専門委員会からの丁寧な説明の後、生徒会執行部が、先生方との「つながり」を意識した「似てる？似てない？クイズ」(?)を行いました。執行部の生徒が、3名の先生になりきって演じながら、いくつかの質問に答え、それはいったい誰？というものでした。音楽室の椅子に座って見ていた私と教頭先生は、笑いをこらえるのに必死でした。身に付けているものや持ち物で、答えはすぐにわかりましたが、趣味や口癖を本人になりきって演じている姿がとにかく面白かったです。

② 7月に入って、体育委員会主催の「昼休みクラスマッチ・ドッチボール大会」が行われました。フリー抽選の為、中1と中3が戦う場合がありますが、1年生が勝利した試合もあり、盛り上がって楽しんでいます。盛り上がりすぎてのトラブルや熱中症予防のため、職員も体育館に常駐して取り組みました。

③ お昼の放送(昼休み時)に「執行部ラジオ」なるものを行っています。三中をもっと深く知っていくために、執行部が企画したものです。生徒の頑張りを認めたり、質問に答えたりしていました。学校を盛り上げようと様々なアイデアを出し、それを実行する行動力に感心しています。

④ 生徒会執行部を中心とした朝の登校時の呼びかけにより、登校時刻が少しずつ早くなっています。ぎりぎりの生徒達も小走りするようになりました。集団生活を送るうえで「時間を守る」ことは大切なことです。当たり前のことですが、意識が少し高まってきたかなと喜んでいます。

⑤ 7月14日(月)初任者訪問(荒尾市教育委員会)、7月15日(火)玉名教育事務所学校訪問。二日続けてありました。そのほかにも、たくさんのお客様を迎える日が多かった7月。訪問者が口々におっしゃられるのは、「挨拶がとってもいいですね!」とのこと。玉名教育事務所の職員の方々からは、「1年生は元気があつてすごくいいですね。2・3年生は落ち着いていますね!」というお褒めの言葉をいただきました。もちろん今後改善を図るべき課題もご指摘いただきましたが、総じて先生方・生徒の頑張りが見えて嬉しかったです、という言葉もいただきました。自信を持っていいと思います。

楽しませてもらおう、ではなく、自分達で楽しもうとする、楽しくなるように計画する

いい雰囲気です。夏休み明けはこの土台の上に、我慢する力をはじめ、様々な力をつけていきます。

【夏季休業中のこと～荒尾第三中学校の生徒である自覚を持って生活する～】

本日、「生活の心得」をはじめとする様々なプリントが配付されています。とにかくすべてのプリントに必ず目を通すこと。あなたたちにとって大切なことが書いてあります。ですから、細かい、具体的なことはこの学校だよりには書きません。「こんなことを意識してほしい」と思う文章・言葉を紹介します。

- 「意志あるところに道は開ける」
- 「目標がその日その日を支配する」
- 「案ずるより産むが易し」
- 「水滴石を穿つ」
- 「勝者と敗者の違いは、たいていの場合…やめないことである」
- 「成功とは、失敗を重ねてもやる気を失わないでいられる才能である」
- 「日々是好日」

読めば十分伝わる文章・言葉がほとんどですが、わからないものがあれば、自分で調べてみてください。私もこの夏は、この文章・言葉を意識して取り組んでみようと思います。